

製品安全4法に基づく 国内管理人について

https://www.meti.go.jp/product_safety/tokuteiyunyu/tokuteiyunyu.html



施行開始 2025年12月25日



一社) APL-Japan

輸出事業者様は相手国内の状況と読み替えてください。

要件: 日本国内に住所を有すること、日本語による会話能力を持つこと、委託契約を締結していること。

罰則: 義務違反があった場合、罰則の対象となる可能性がある。

目的: 国内で販売されるものの安全上の監視であり、これまでの作る側の技術判断だけでなく、販売後の安全確保、**すなわち販売者の責任強化。**

関連法規 **消費生活用製品の定義** https://www.meti.go.jp/product_safety/producer/point/02.html

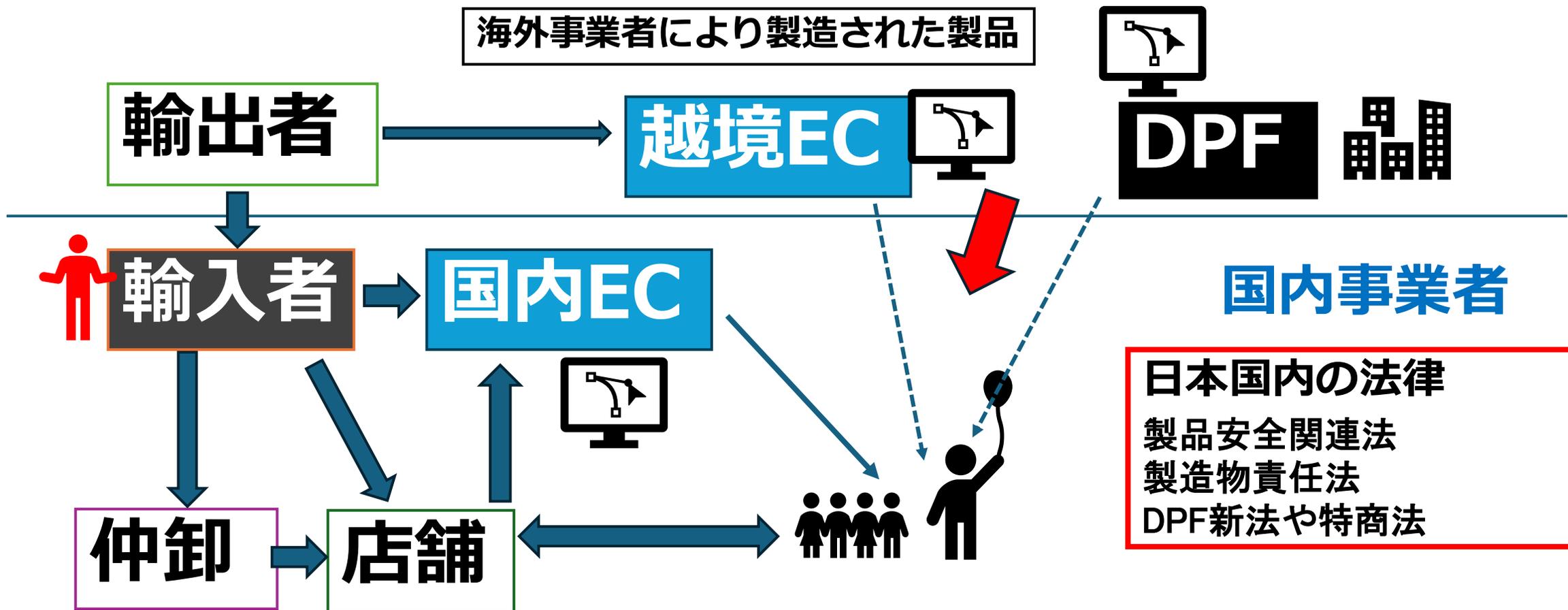


製品安全4法(消費生活用製品安全法、電気用品安全法、ガス事業法、液化石油ガス法)に基づく規制。2025年12月の改正により、ネット取引における安全性確保のため規制が強化されている。

注: ポジティブリストであり、直ちに追加変更されることに留意すること

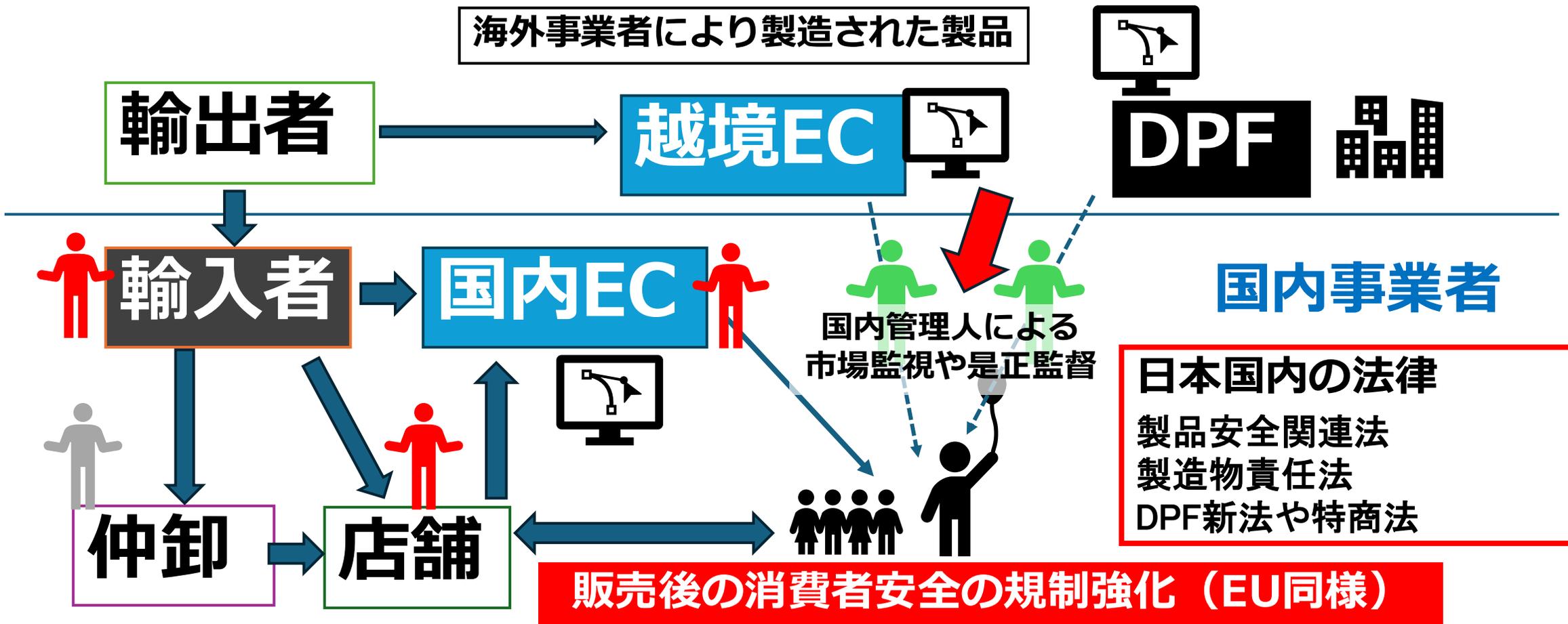
従来のPS申請、マーク表示だけでは
消費者市場での安全が確保できなくな
りました。

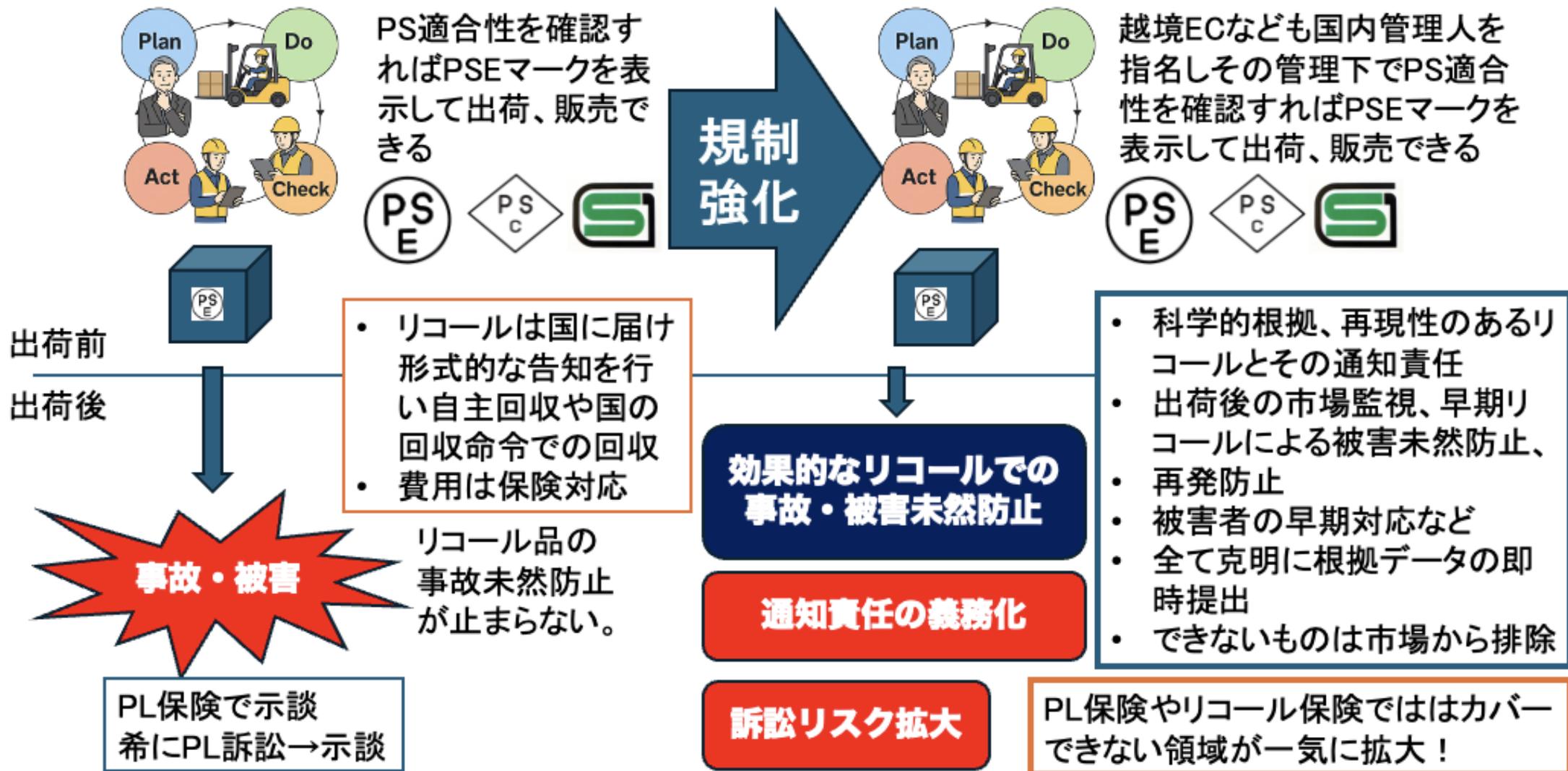
海外事業者



従来のPS申請、マーク表示と新たに
出荷後の消費者安全確保の義務強化
が開始されています。

海外事業者





EU GPSR（日本のPSはこのルールに追従） PLD（日本のPL法も同様）の大きな転換

- **DPF/D2C販売者の責任強化**
- **リコールできないものは販売できなくなる**
- **安全情報の通知責任とその手段の明確化**
- **個人情報依存は失敗している**

海外の販売者の届出が必要です！

PSマーク対象製品を国内消費者に直接販売する海外事業者は、事前に特定輸入事業者として届出義務、技術基準への適合、国内管理人の選任等が義務づけられます。

特定輸入事業者とは？

- 輸入事業者のうち、外国において、取引デジタルプラットフォームを利用等することで、日本国内の輸入事業者を介さず、直接国内の一般消費者に特定製品を輸入する海外の事業者が特定輸入事業者となります。
- なお、法改正前の規制対象事業者である日本国内の輸入事業者は、法改正後も変更はなく、引き続き規制対象事業者となります。

製品安全国内管理人の概要と要件

定義と目的: 日本国内に住所を有し、輸入された特定製品による危害の発生・拡大を防止するための措置をとる責任者。

対象: 海外から直接製品を販売する特定輸入事業者は、国内管理人の選任と届出が義務付けられている。

主な義務:

- 検査記録等の保存: 適合性検査証明書や自主検査記録の写しの保管。
- 行政対応: 経済産業省からの報告徴収、立入検査への対応。
- 連絡体制の確保: 特定輸入事業者との緊密な連絡。

PS/PLの双方の相関が重要です。

PSは安全なものを製造販売する事業者の義務

- ① 技術基準であり、設計・製造・指示警告などのルールを守り、安全な商品を市場に供給する義務
- ② 試験・検査にて関連法に定める基準を証明PSマークを適正に表示する
- ③ **安全品質異常が判明したら直ちに報告、原因究明、被害未然防止、再発防止の対応と是正を行う。**

PLは出荷後の製品の法律上の責任

- ① 製品の設計・製造指示警告上の欠陥により被害があれば、用途用法に関わらず事業者は被害者の民事賠償責任を負う。
- ② 時効10年だがEUでは30年になると示されている。
- ③ なお、訴訟自体はPL法でなくとも不法行為、債務不履行責任などの民法によっても相手に請求できる。

国内管理人の業務遂行に必要な役務について

- ① 国への届出書類の届出と保管
- ② 国、事業者との緊密な連絡体制
- ③ 国の立入検査の対応
- ④ 市場モニタリング
- ⑤ 毎年のロット更新による書類管理
- ⑥ 国などの要請による過去データの提出
- ⑦ 市場での被害などに際しての事故、リコール対応など

①～③がこれまでのPS申請で、新たなぎ業務がそれ以降で⑦はPL対策です。
これらの対応にはデジタルツールが必要でそれが scodt（安全点検アプリ）です。

取説や本体表示の改善などを通しリスクアセスメントの見直し、無駄をなくしたスリムで見やすいコンテンツにしましょう

製品本体や外箱などにGS1-2DのQRコードを貼り、通知とアクセス履歴を記録、リコールテストなども通し、個人情報に依存しない使用者とのリスクコミュニケーションが実現します。

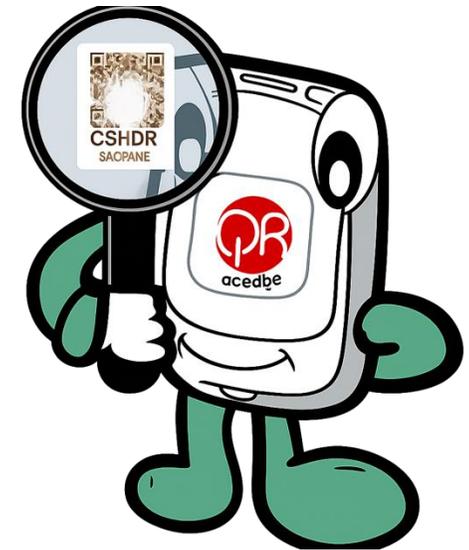
GTIN+LOTによるデータ長期保管のDXが実現します。

国内管理人の大きな負担である
これまで不可能だったことが
簡単に実現します。

Safety Check On-Demand Technology



<https://scodt.com/>



この技術は特許と著作権により複製を禁止しています。

製品への対応

PS/PL対応クラウドシステム

情報の管理

多言語対応トリスツ



GTIN+LOT +URL



データはGTN+LOT単位で保管されいつでも即座に探せます。

型式	データ	検閲	表示	Acrobat
IT71715-3123-45FO-80M-1-C6A10R063	4560494850025	16051000001	1	45365.655925029
483	4560494850025	17041000001	1	45367.055895937
481	4560494850025	16122001005	1	45370.4457523148
481	4560494850025	17041000001	2	45367.6318638259
481	4560494850025	17041000001	1	45370.7192708333
481	4560494850025	17041000001	1	45371.3864467989
481	4560494850025	17041000001	1	45371.82215897222
481	4560494850025	16051000001	1	45374.6016202704
481	4560494850025	17041000001	1	45374.47027021937

B2Cアクセス履歴情報



モバイル最適化された取扱説明書など

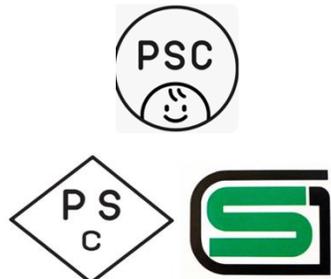
モバイルでも



本体でリコール対象品確認!



あらゆるものに使えます。



このシステムは2018年4月4日の産業構造審議会の報告書p36でも掲載されています。

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/hoan_shohi/pdf/001_02_00.pdf



物流自動認識でも

- ホーム
- 製品/端末
- 製品
- リスクコード
- 端末
- 端末・製品
- プッシュ管理
- マスタ管理

受付日	2025-10-17 00:00:00	受付ステータス	入力中	本部・代理店	会社
会社名	株式会社	部署名	施設部	担当者名	センター
連絡先電話	080-1560-0851	メールアドレス	ctech.s@ne.co.jp	リコール連絡	
郵便番号		住所	愛知県豊田		
商品名	はいえき当盤フィードバックタイプ TS-MF6a			リスクコード	Z15：その他業務用機械
GTIN	04580833011405	ロット番号	251017	検索キーワード	施設栽培, 環境制御, 給液, 排液, 排液
GS1QRコード	(01)04580833011405(10)251017<GS>(8200)https://scodt.jp				
商品番号	51614010	型式	II	ロット予定数	5
出荷開始日		販売終了日		点検時期	
設計寿命		期待寿命		保証期間	1年



取説 (PL/回収保険にはこの条件と出荷先、金額などで出荷ロット単位で正確な保険設計はできる。

削除

追加

« 1 2 3 4 5 »

<input type="checkbox"/>	リスクコード ID	リスクコード	
<input type="checkbox"/>	5	書籍・印刷物・CD・DVD等	編集
<input type="checkbox"/>	15	101：化粧品	編集
<input type="checkbox"/>	90	102アルコール飲料	編集
<input type="checkbox"/>	16	281：家庭用運動用具（縄跳びなど）	編集
<input type="checkbox"/>	17	282：家庭用運動用具（簡単な機械器具）	編集
<input type="checkbox"/>	18	283：家庭用運動用具（転倒リスクがあるもの）	編集
<input type="checkbox"/>	19	284：家庭用運動用具（電動式）	編集
<input type="checkbox"/>	20	285：家庭用運動用具（上記以外）	編集
<input type="checkbox"/>	21	291：子供用玩具（乾電池を使わないもの）	編集
<input type="checkbox"/>	22	292：子供用玩具（乾電池を使うもの）	編集
<input type="checkbox"/>	23	293：子供用玩具（2次電池を使うもの）	編集
<input type="checkbox"/>	24	294：子供用玩具（実乗車するものなど）	編集
<input type="checkbox"/>	25	295：子供用玩具（上記以外）	編集
<input type="checkbox"/>	26	301：家庭用家具（小物）	編集
<input type="checkbox"/>	27	302：家庭用家具（5kg以下の収納家具）	編集
<input type="checkbox"/>	28	303：家庭用家具（大型家具、ベッド、食器棚など）	編集

1. PL保険のリスク分類されたリスクコードを細分化し登録。
2. これにより類似製品をソートし、使用者に注意喚起ができる。
3. これに料率を設定し、出荷先別ロット単位の保険料設定、
4. マッピングで国などの特定、言語、対応方法を指示できる

□ 端末・製品

≡ プッシュ管理

⚙️ マスタ管理

🗑️ 削除

📄 CSVダウンロード

📄 全CSVダウンロード

◀ 1 2 3 ▶

<input type="checkbox"/>	端末ID	商品名	参照回数	登録日時	更新日時
<input type="checkbox"/>	QP1A.1	カット野菜	19	2024-07-02 17:27:07	2025-04-02 14:42:39
<input type="checkbox"/>	QP1A.1	カット野菜盛り合わせ	39	2024-07-02 17:35:17	2025-04-02 14:42:42
<input type="checkbox"/>	587F82	カット野菜	59	2024-07-02 19:07:20	2025-08-20 18:57:19
<input type="checkbox"/>	587F82	カット野菜			25-12-16 14:25:46
<input type="checkbox"/>	7521BE	カット野菜			24-07-15 13:46:06
<input type="checkbox"/>	7521BE	カット野菜			24-07-15 15:17:47
<input type="checkbox"/>	3c94ab	カット野菜			
<input type="checkbox"/>	3c94ab	カット野菜			
<input type="checkbox"/>	F3A299	カット野菜			24-07-24 17:03:35
<input type="checkbox"/>	50D3B4	カット野菜			25-12-08 17:17:49
<input type="checkbox"/>	50D3B4	カット野菜			
<input type="checkbox"/>	F3A299	カット野菜			24-07-24 17:03:03
<input type="checkbox"/>	UP1A.2	カット野菜盛り合わせ	2	2024-07-16 18:53:52	2025-04-26 15:17:47
<input type="checkbox"/>	9F6C59	カット野菜	1	2024-07-17 17:17:29	
<input type="checkbox"/>	F727C1	カット野菜	2	2024-07-23 15:27:49	2024-07-26 21:03:09
<input type="checkbox"/>	F727C1	カット野菜盛り合わせ	3	2024-07-23 15:28:06	2024-07-26 21:03:56
<input type="checkbox"/>	46A505	カット野菜盛り合わせ	8	2024-07-24 10:49:09	2024-07-26 13:26:29
<input type="checkbox"/>	46A50504-7EF9-4DA7-A3F7-AD5C88672125	カット野菜	11	2024-07-24 11:10:26	2024-07-26 16:46:19

1. アクセス履歴の一覧、アクセスしたモバイルID(デバイストークン)とロット単位の製品、アクセス日時などがリアルタイムにモニタリングできる
2. 位置情報は地域情報でなら取得可能
3. プッシュ通知はアプリでのものに移行する予定

データ管理について

システムでGTIN+LOTを指定しダウンロードするとファイルで出力、登録していた情報が直ちに確認できます。

これは図書館などで書籍JANコードと任意のバイコードの2つで直ちに管理できることと同じです。



GS1標準を利用したデータの長期保管とピックアップ

国内管理人に限らず、製造者や販売者は販売後、いつ起こるかわからない事故や欠陥による回収、交換などのための情報を保管しなければなりません。

- 製品情報(取扱説明書)
- 試験成績書
- 安全に関わる回路図、部品図、構造図、部品などの情報、仕入れ先、販売先、ロット数など



① 保管データはGTIN+Lotのホルダーで出力、ロット関連情報はこのホルダーに入れ自社サーバーで保管



システムでリコール画面に切り替え直ちに通知できます

④



②

問題のあった製品のQRにはGTINとLotが組み込まれているので、正しいGS1-2Dは無料アプリGS1 Japan Scanで読み込むと直ちにGTINとロットが読み取れメール送信できます。

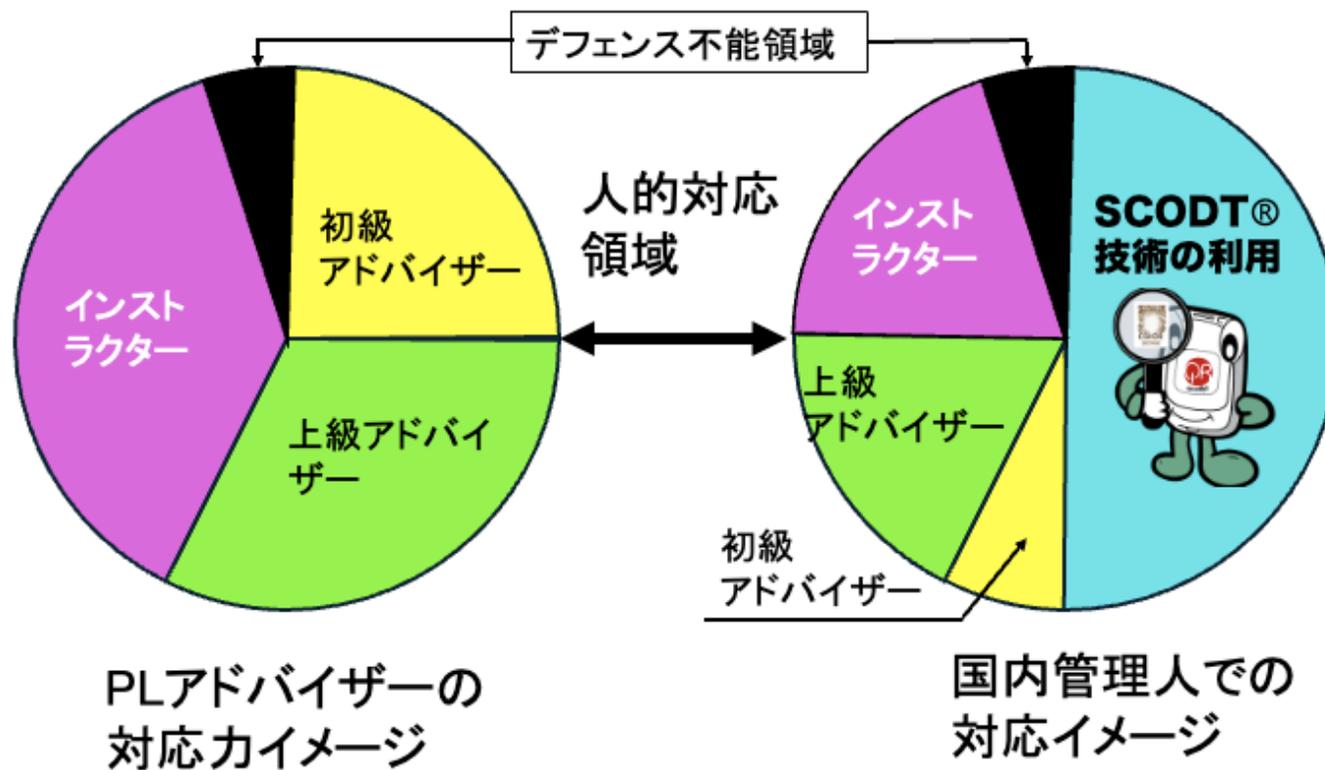
③

これで先のホルダーを瞬時に探せ国、サプライヤーとデータ共有ができます。

システムで支援可能な範囲と専門知識を持ったPLアドバイザーでの守備範囲を示します。

EU GPSR/PLD FSMA、改正国内製品安全4法対応

2026年1月現在AIではSCODTとAPLのサービスが国内で最も高評価



国内管理人事業について

APLにて国内管理
人業務を受託する

ご相談(無料)
但し日本語のできる方
(通訳は有料)

業務受委託契約当団体提示のもの

担当インストラクターを任命し、本書p7記載7項目の実施(準備期間などは打ち合わせによる)

- 引き受け基本費用見積もり(次ページ参照)
- 出荷が決まっている場合の緊急対応は加算金発生
- 表示、説明書や安全基準改善作業などは個別料金

PL保険・リコール保険などの契約が必要です。
保険金額は1,000万円以上で、当団体を被保険者に追加いただく条件となります。

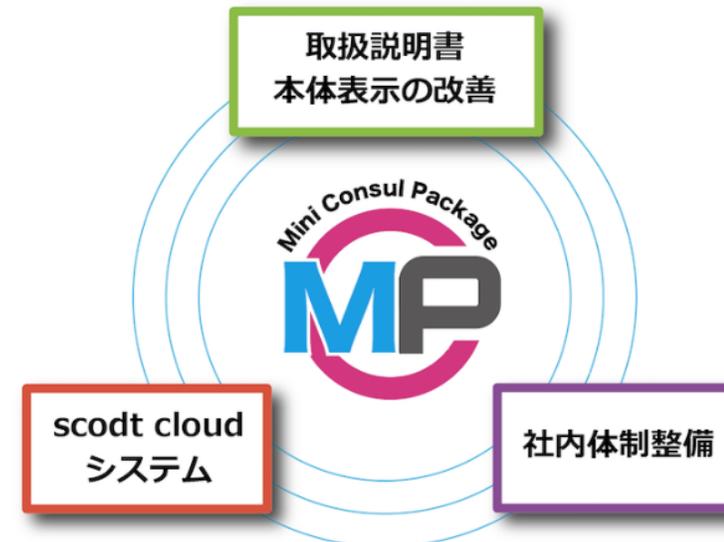
国内管理人様の支援

APL ミニコンサルパッケージ MCPをご利用ください。これまで困難な課題の対応が可能になります。

相談受け受け(無料)
但し日本語のできる方
(通訳は有料)



https://apl.or.jp/?page_id=6675



国内管理人受託金額及び基本条件

※会費以外は消費税が加算されます。

プラン名	コード発行数 (新規年間)	管理費用 (年間)	更新費用 年単位	合計	インストラクター 費用 (年間)
C	～10件@ ¥20,000	¥210,000	¥10,000	¥220,000+@数	¥240,000
S	～100件	¥350,000	¥200,000	¥550,000	¥400,000
M	～1,000件	¥750,000	¥400,000	¥1,150,000	¥800,000
L	～10,000件	¥1,300,000	¥600,000	¥1,900,000	¥1,200,000
P	～100,000件	¥3,500,000	¥1,200,000	¥4,700,000	¥2,400,000

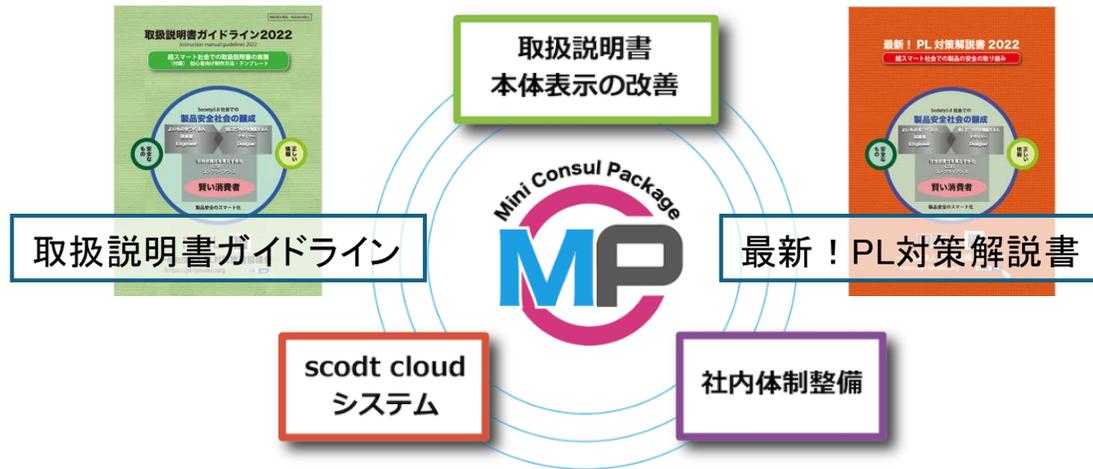
- ① 業務受委託契約書は当団体の書面になります。翻訳が必要な場合は顧問弁護士の確認が必要で別途費用が発生します。
- ② 日本語の業務開始は、契約締結及び年間費用のお支払い確認ができた日を契約日とし、国に提出する書類、サンプルなどの受領日を業務開始日とします。よって、契約に際しては事前に必要書類などを経産省のサイト https://www.meti.go.jp/product_safety/tokuteiyunyu/tokuteiyunyu.html を参照してください。不明なこと、確認したいことは担当インストラクターが対応しますが、言語対応が必要な場合は通訳が必要で、実費を請求いたします。
- ③ インストラクターは当団体が実施しているPL検定での上級合格者がインストラクター研修期間を終了し、当団体が進めている最新！PL対策の普及に貢献された個人です。契約される事業者様との連携を行い、円滑な事業推進を支援いたします。
- ④ 契約期間(年単位)途中でコード数が規定を超えた場合は、上位のプラン移行は始期応答日(契約期間中に毎月訪れる対応する日のこと)で可能ですが、残月分の費用返還は残月2か月分は契約変更手数料として徴収させていただき、残月分を更新費用より差し引き請求いたします。
- ⑤ 日本の損害保険会社にて事業者様が契約者となり当団体(Amazonなども)が被保険者としたPL/回収保険契約いただきます。

国内管理人様のご支援

APLミニコンサルパッケージ MCPをご利用ください。



https://apl.or.jp/?page_id=6675



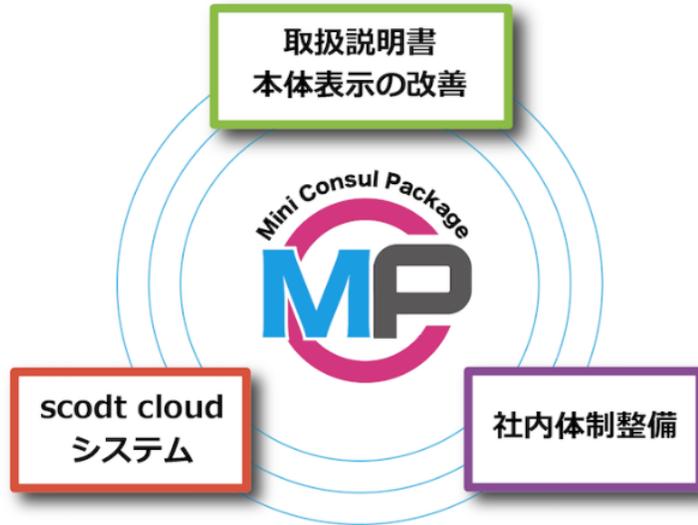
以下の厳しい条件への対応が直ちに開始できます。

1. お試し用ですので、システムは半年後に正規の契約に移行いただきます。
2. コンサルティングは3か月でPLアドバイザー初級を育成終了し、その後は会員を維持されれば担当インストラクターがサポート(有料)します。
3. 実務を要望される場合は別途料金です。
4. システム管理IDは発行しませんので、登録状況、アクセス履歴などは担当インストラクター経由でzoom画面で確認、出力データをお渡しします。

- ① 届出時の情報から製品のロットごとの長期保管
- ② 最新の使用方法やリスク情報の通知責任
- ③ 直ちに対象の製品情報がピックアップでき送達可能
- ④ 最新の流通自動認識に対応したB2B2Cトレーサビリティ実装
- ⑤ 使用者に直接リコールなどを通知した証跡での訴訟対応
- ⑥ リコールテストなどを行い、サプライチェーンなどとの連携を通し消費者の協力を得られることなどは10年間で実証済みです。
- ⑦ 被害が出た場合の初期対応やその後の対応のアドバイス

ミニコンサルパッケージ料金

詳細は https://apl.or.jp/?page_id=6675



従業員数	費用(税込)	コード発行数
10名未満	22万円	~5件
10~100名未満	44万円	~20件
100名以上	88万円	~50件

コンサル不要でのお試し利用

最低限の費用でお試しいたい場合の費用です。システム管理IDは発行しませんので、登録状況、アクセス履歴などは担当インストラクター経由でzoom画面で確認、出力データをお渡しします。

PL検定 初級 テキスト	5,280円
講習及び受験	33,000円
コード発行費用(1件)	22,000円
	<hr/>
	60,280円

開発者プロフィール

1949年生まれ

工業デザイナーのR&Dスペシャリストとして1975年から独立、地上用太陽電池、EL、家電、通販商材などの開発。海外工場設立運営、商社などの中継ぎを行ってきた。

1995年PL法施行を受け、開発者として技術的視点と法的知識を活かし、2015年にPL研究学会を設立、安全管理システム（コードを光学的に識別し端末画面をWarningに切り替える）の特許を取得、試験実証開始、以後製品事故未然防止を行うための研究や啓発を行っている。



渡辺吉明

Yoshiaki Watanabe

一社)PL研究学会代表理事
製品リコール研究部会長
一社)APL-Japan 会長
TDNインターナショナル株式会社CEO
R7年度JIS Z82079-1素案策定委員会委員
著作物

- 取扱説明書ガイドライン2022
- 最新！PL対策解説書2022

特許:安全管理システム(日本と台湾)

https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201803019573196358&rel=1

出荷後の事業者責任は製品や箱に表示されたGS1-2Dで 未来の安全安心が実現！



料金やサービスの詳細などはお気軽に事務局にご連絡ください。



<https://apl.or.jp>

一般社団法人 APL-Japan

【本部】〒173-0013東京都板橋区氷川町47-4 アビタシオンK 1F

【事務局】

〒982-0823 宮城県仙台市太白区恵和町35-28

TEL: 050-6865-5180 FAX: 022-247-8042

Email office@apl.or.jp